

【観点】Ⅰ：知識・技能 Ⅱ：思考・判断・表現 Ⅲ：主体的に学習に取り組む態度

単元	指導内容	評価の観点			評価規準
		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	
ふしぎ	1 『ふしぎ』の魅力やおもしろさについて考え、互いに発表し合う。	○	○	○	【知識・技能】事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを互いに発表し合い、確かなものになっている。(C1)オ 【態度】すすんで文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを確かなものにし、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。
桜蝶	1 「学びナビ」を読み、文学作品の特徴について述べられていることを理解する。その後、『桜蝶』AとBを読み、構成や展開、描写の仕方などにどのような違いがあるかを考える。 2 『桜蝶』Aを読み、描写をもとに登場人物の相互関係や心情の変化を捉える。 3 『桜蝶』Bを読み、描写をもとに登場人物の相互関係や心情の変化を捉える。 4 『桜蝶』AとBの構成や展開の違いと読み手に与える印象の違いとの関わりを捉え、物語や小説を読むときにどのような点に注目すべきかについて、自分なりに考えたことを発表し合う。	○	○	○	【知識・技能】事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写(特に二つの文章の描かれ方の違い)をもとに捉えている。(C1)イ 【態度】粘り強く二つの文章を読み比べながら、場面と描写などを結びつけて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
【話す聞く】お気に入りの一品を紹介する	(お気に入りの一品を決め、実物や写真などを用意しておく。) 1 話す内容と項目を決め、スピーチ用のメモを作成したあと、各自で練習をする。 2 第1時の練習を踏まえて思いを効果的に伝えるための工夫を考え、ペアでスピーチを聞き合い、よかったところを伝え合う。	○	○	○	【知識・技能】事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中からお気に入りの一品について話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A1)ア 【態度】すすんで日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理して伝える内容を検討し、学習課題にそって伝え合おうとしている。
文法の小窓1 言葉の単位 文保(解説)1 言葉の単位	1 P27『文法の小窓1』を読み、「わたしは やまに のぼる。」「とりが そらを とぶ。」が句点で二つの文にくぎられていること、分かち書きでさらにくぎられていることを確認したあと、P272を読み、「文」と文の集合である「文章」、「段落」についての理解を深め、P273の「考えてみよう」に取り組む。 2 P273を読み、「文」を構成する「文節」と「単語」について理解を深めたあと、『文法の小窓1』のハルの最後のせりふに注目させ、P274を読む。進行の具合によって、「文」もしくは「文節」の観察を行い、観察結果と捉え方について、意見の交流を行う。	○	○	○	【知識・技能】単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。(1)エ 【態度】積極的に言葉の単位について理解するとともに、見通しをもってその役割を考えようとしている。
自分の脳を知っていますか	1 「学びナビ」を確認する。全文を通読し、クッキーを使った二つの実験の説明によって、筆者が伝えようとする内容を捉える。 2 「おとり効果」と呼ばれる現象には、脳のどのようなはたらきが関わっているのかを考え、「脳の奇妙な癖」について理解する。 3 「脳の奇妙な癖」について「おとり効果」の有効な点と問題点を整理する。 4 第3時で整理したことを踏まえて、筆者の考えを文章にまとめる。 5 文章にまとめたものを学習者どうして読み合い、相互評価	○	○	○	【知識・技能】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに筆者の考えを捉え、要旨を把握している。(C1)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(C1)ウ 【態度】粘り強く文章の要旨を把握し、学習課題にそって筆者の考えをまとめようとしている。
【書く】資料から得た根拠をもとに意見文を書く	1 「学びナビ」を読んで教材のねらいを理解し、日常生活や自分自身の興味・関心をもとに取り上げる話題と主張したいことを決める。 2 自分が取り上げた話題について調査した資料を比較して、共通点や相違点を整理する。 3 2で整理した共通点や相違点をもとに、根拠を明確にして文章の構成を考える。 4 3で考えた構成に従って文章を書く。 5 根拠と主張のつながりに注意して推敲する。 6 生徒どうして書いたものを交流し、資料の読み取りや構成の工夫について確認し合う。	○	○	○	【知識・技能】比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように複数の資料を比較するとともに、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B1)イ 【態度】すすんで情報の整理の仕方について理解し、学習課題にそって共通点や相違点を根拠にしながらかれたことを書こうとしている。
漢字の広場1 漢字の部首	1 「部首」という概念を理解し、漢字の「部首」を確認したり、「形」から「義」や「音」を類推したりする。	○	○	○	【知識・技能】学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ 【態度】積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
言葉の小窓1 日本語の音声 言葉(解説)1 日本語の音声	1 教科書P46を読み、「little」を音符に合わせて書くのがなぜ難しいのかという疑問を共有する。P261の「日本語と英語の音節」を読み、日本語と英語に違いがあることを確認する。P260「やってみよう」、P261「五十音図」を読み、日本語の「子音」と「母音」の違いや、音の特徴について理解する。 2 P262～263を読み、「アクセント」「イントネーション」を変化させることによって、どのように意味が変わるのか、またそれによってコミュニケーションにどのような影響が出るのかを考える。	○	○	○	【知識・技能】音声のはたらきや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア 【態度】積極的に音声のはたらきや仕組みを理解し、学習の見通しをもって日本語の音の特徴について理解を深めようとしている。

【話す聞く】内容を整理して説明する	<p>「自分の自分はどうありたいか」を具体的にイメージし、その過程での迷いや悩みを乗り越える「名言」や「印象深い言葉」の情報を集める。</p> <p>2 ワークシートに「名言」や「印象深い言葉」を記入し、ありたい自分になるための具体的な計画を考え、説明する手順を整理する。</p> <p>3 自分の計画をわかりやすく説明する。聞き手の反応を見ながら話す内容や順番を変える。</p> <p>4 互いの発表についてよかった点や改善点を話し合い、よりよい話し方、聞き方について学び合う。</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように話す内容や順番などの表現を工夫している。A(1)ウ</p> <p>【態度】粘り強く相手の反応を踏まえながら表現を工夫するとともに、学習課題にそって伝えたいことを話そうとしている。</p>
ベンチ	<p>1 作品を読み、「ベンチ」の表す状況を捉えて、自分なりの課題をもつ。</p> <p>2・3 「みちるべ」の説明にそって、情報の集め方を理解する。</p> <p>4 効果的な表現を考えながら、作品の帯やポップを作成する。</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。C(1)イ</p> <p>【思考・判断・表現】「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>【態度】すすんで読書が考えを広げることに役立つことを理解し、学習の見通しをもって考えたことを提案しようとしている。</p>
全ては編集されている／写真で「事実」を表現する	<p>1 『全ては編集されている』を読み、内容を整理し、「編集」されているものについて考える。「学びナビ」を使い、写真もまた編集されているものであることを確認すると同時に、写真を見る観点について理解する。「何を切り取るか」を使い、対象の写真が何を切り取っているのかを考える。「写真の情報を整理する」で、写真の題名を考える。</p> <p>2 「写真を組み合わせる順序を考える」を使い、四場面の物語を完成させる。</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈している。C(1)ウ</p> <p>【態度】情報の扱い方についての理解を深め、目的に応じて適切に情報を読み取り、伝えたい情報を明確に表現しようとしている。</p>
漢字の広場2 画数と活字の字体	<p>1 実際に文字を書き記すための基準となる「教科書体」の活字に着目し、正確な画数と字形に基づいた文字を書く態度を身につけるとともに、画数をもとに漢和辞典の総画索引や部首索引を使用する方法を練習する。</p>	○		○	<p>【知識・技能】学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ</p> <p>【態度】積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。</p>
【書く】材料を整理して案内文を書く	<p>1 「学びナビ」を読んで教材のねらいを理解し、誰に何を案内するのかを考え、必要な情報を集めて整理する。</p> <p>2 案内文の構成を考える。</p> <p>3 相手や目的を意識しながら案内文を書く。</p> <p>4 推敲して清書する。</p> <p>5 相手の立場になって案内文を読み合う。</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>【態度】すすんで集めた情報を整理し、学習の見通しをもって案内文を書くこととしている。</p>
持続可能な未来を創るために一人の暮らし方を考える／「エシカル」に生きよう	<p>1 SDGsの紹介、SDGsに関する資料を参考に、「始めの『問い』」を考える。</p> <p>2 『「エシカル」に生きよう』を読み、「次の『問い』」について整理する。</p> <p>3 「プロローグ」を再読し、「最後の『問い』」について話し合い、自分なりの考えを書く。</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面にに応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。A(1)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。C(1)オ</p> <p>【態度】粘り強く自分の考えを確かなものにするるとともに、今までの学習を生かして本や資料をもとに考えを深めようとしている。</p>
森には魔法つかいがある	<p>1 「学びナビ」を読んだあと、序論で筆者が示した問いを見つけ、全文を通読して筆者がどのように答えを見つけていったのか、教科書P87上段の空欄を補うことで全体の構造を捉える。</p> <p>1 「学びナビ」を読んだあと、序論で筆者が示した問いを見つけ、全文を通読して筆者がどのように答えを見つけていったのか、教科書P87上段の空欄を補うことで全体の構造を捉える。</p> <p>2 第1時で完成したP87の内容を踏まえて、筆者がどのような取り組みや研究をおして問いの答えを見つけていったのか、筆者がたどった問題解決の道筋を整理する。</p> <p>3 本文の内容を理解するために重要な語句を取り出し、国語辞典や辞書などを使って必要なことを調べる。</p> <p>4 調べたことを説明するために資料を作り、本文中の図や写真、調べたことなどを使ってわかりやすく説明する。</p> <p>5 「森と川と海は一つなのだ。」という筆者の考えを踏まえて、根拠を明確にしなが自分の考えを書き、考え方や表現の仕方を読み合う。</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果(特に論理の構成)について、根拠を明確にして考えている。C(1)エ</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。C(1)オ</p> <p>【思考・判断・表現】「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。B(1)オ</p> <p>【態度】粘り強く文章の論理の展開について考え、学習課題にそって文章を読んで考えたことをまとめようとしている。</p>
文法の小窓2 文の成分 文法(解説)2 文の成分	<p>1 教科書P98「文法の小窓2」を読んで、文の成分どうしの関係を考えるとともに、教科書P275～276を読んで文の成分とは何かを理解し、主語・述語について理解する。</p> <p>2 教科書P277～278を読んで、修飾語・接続語・独立語について理解する。</p> <p>3 教科書P278～279を読んで、文の成分を組み立てる並立の関係・補助の関係について理解するとともに、文の組み立ての分析を行う。</p>	○		○	<p>【知識・技能】文の成分の順序や照応など文の構成について理解を深めている。2年(1)オ</p> <p>【態度】すすんで文の構成に興味・関心を抱き、文の成分の種類とはたらきを理解して、文の構成について理解を深めようとしている。</p>
【書く】根拠を明確にして意見文を書く	<p>1 「学びナビ」を読んで教材のねらいを理解したうえで、伝えたいテーマを選ぶ。</p> <p>2 選んだテーマについて根拠を考えたり、資料を探したりする。</p> <p>3 根拠を明確にして自分の考えを書く。</p> <p>4 推敲する。</p> <p>5 書いた文章を生徒どうして読み合い、根拠を確認し合う。</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ</p> <p>【態度】すすんで根拠が明確な文章になるように工夫し、学習課題にそって自分の考えたことを書こうとしている。</p>

<p>広告の情報を考える</p>	<p>1 「学びナビ」を読み、広告の「工夫」について考える。教科書P103の広告にどのようなメッセージがこめられているかを考える。P104の二つの広告を比べて、広告を構成する要素を具体的にあげ、共通点や相違点を整理し広告の「工夫」について理解を深める。 2 P105の写真から一枚を選び、ポスターを作成する。作ったポスターを見せ合い、「工夫」について確認し合う。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>【知識・技能】比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して、内容を解釈している。C(1)ウ 【態度】積極的に関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、学習の見通しをもって伝えるべきことを整理して書こうとしている。</p>
<p>昔話と古典</p>	<p>1 古典の仮名遣いに注意して川柳を読む。昔話を読んだり聞いたりした経験話話し合い、古典の世界に興味・関心をもつ。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>【知識・技能】古典には様々な種類の作品があることを知っている。(3)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C(1)イ 【態度】昔話に関する知識を手がかりに本文をすすんで読み、新しく知ったことについて話し合いの場で発言しようとしている。</p>
<p>物語の始まり</p>	<p>1 『竹取物語』について知っていることを発表したり、前半部を通読したり音読したりする。 2 後半部を通読したり音読したり、歴史的仮名遣いに注意しながら原文をノートに書き写したりする。 3 『竹取物語』について調べ、絵本などの「かぐや姫」と『竹取物語』の異なる点を文章にまとめたり、話し合ったりして、そのおもしろさを考える。 4 現代語とは違う意味で用いられている語や、現代語ではあまり用いられない語、現代語と同じ意味の語をあげ、古典の言葉と現代語のつながりについて考える。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>【知識・技能】音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C(1)イ 【態度】積極的に古典の世界に親しむとともに、学習の見通しをもって作品について考えたことを記録しようとしている。</p>
<p>故事成語</p>	<p>1 「矛盾」の盾と矛を売る人の話でつじつまの合わない点について考え、発表する。また、「助長」の意味を国語辞典と漢和辞典とでそれぞれ調べ、現在どのような意味で使われているか確認する。 2 「矛盾」と「助長」の書き下し文をノートに書き写したり音読したりして漢文訓読のきまりを理解する。また、漢文の読み方をもとに、いろいろな二字熟語や四字熟語の意味を説明する。 3 いろいろな故事成語の意味や由来を調べ、それを使った短い文を書き、発表する。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>【知識・技能】音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、漢文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C(1)イ 【態度】すすんで音読に必要な訓読の仕方を知り、学習の見通しをもって文章を読んで考えたことを伝え合おうとしている。</p>
<p>蜘蛛の糸</p>	<p>1 全文を通読し、物語のあらすじを捉える。 2 『蜘蛛の糸』以外の近代小説を読む。 3 近代小説についての紹介文を書き、意見を交換する。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>【知識・技能】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C(1)イ 【態度】すすんで読書が考えを広げること役立つことを理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝えようとしている。</p>
<p>河童と蛙</p>	<p>1 「学びナビ」を読み、オノマトペの効果について理解し、詩の登場人物の役割を捉え、作品の世界を生かすように朗読する。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>【知識・技能】比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解使っている。(1)オ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C(1)イ 【態度】すすんで表現の技法を理解するとともに、詩を読んで考えたことを伝えようとしている。</p>
<p>オツベルと象</p>	<p>1 「学びナビ」を読み、作者と語り手について理解する。 2 全文を音読し、擬声語・擬態語の使われ方の特徴とその効果を考える。 3 「オツベル」と「白象」はどのような人物として描かれているか、会話部分に着目しながらまとめる。 4 「第一日曜」「第二日曜」のできごとと、「第五日曜」のできごとから、共通点と相違点を比べる。 5 「ああ、ありがとう。ほんとに僕は助かったよ。」(教科書P162L7)と、白象が「寂しく笑って」言った理由について発表し合い、文章にまとめる。 6 「第一日曜」「第二日曜」と「第五日曜」では、牛飼いの語り方が変化していることを踏まえ、牛飼いがどのような気持ちでこの物語を語ったのかを考える。 7 『オツベルと象』についてグループごとに感想を述べ合い、交流したうえで、発表する。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>【知識・技能】事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うこととともに、擬声語・擬態語への理解を深めることをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。C(1)エ 【態度】粘り強く表現の効果について根拠を明確にして考えるとともに、作品を読んで考えたことを伝え合おうとしている。</p>
<p>【書く】随筆を書く</p>	<p>1 身近に起こったこと、経験したことなどを思い浮かべ、そこから新しく発見したことやそのことでの自分にとっての意味を考え、随筆に書く内容を決める。 2 読み手をひきつけるような文章の展開を考える。教科書P165を読み、随筆にふさわしい表現があることを理解したうえで、最も適切な言い回しを意識しながら随筆を書く。 3 季語辞典、類語辞典などを用いて、よりふさわしい言い回しがないかを考えながら推敲する。 4 書いた随筆を生徒どうしで読み合い、工夫した言い回しを確認し合う。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>【知識・技能】事象や行為、心情を表す語句の量を増し、文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【思考・判断・表現】「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。B(1)エ 【態度】粘り強く叙述の仕方などを確かめ、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。</p>
<p>言葉の小窓2 日本語の文字言葉(移設) 2 日本語の文字</p>	<p>1 教科書P166『言葉の小窓2』を読んだあと、P264～267までを読み、日本語を書き表す文字の特徴について理解する。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>【知識・技能】学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ 【態度】積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。</p>

子どもの権利	1 「学びナビ」を読んだあと、『子どもの権利』全文を通読し、教科書P171の空欄を補って完成させる。 2 完成したP171を手がかりに、本文の内容を理解する。 3 完成したP171を手がかりに本文の展開を確認し、筆者の説明の仕方の特徴を理解する。 4 筆者の主張を踏まえ、知識を学ぶことや教育を受ける権利について考えたことを話し合う。	○	○	○	【知識・技能】事象や行為を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。C(1)エ 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。A(1)イ 【態度】粘り強く自分の考えを確かなものにするとともに、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。
【話す聞く】調べた内容を聞く	1 「学びナビ」を読み、「予想すること」について理解する。グループごとに「調べたこと」と「考えたこと」を整理して課題を確認し、解決方法と結果を予想する。 2 教科書P181の報告例を参考にして、グループの考えをまとめる。他のグループの報告を聞き、共通点や相違点を見つけて質問する。 3 第2時を踏まえて、グループの考えをまとめ、考えがどのように変わったかを考える。	○	○	○	【知識・技能】事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。A(1)エ 【態度】積極的に共通点や相違点を踏まえて考えをまとめ、学習の見通しをもって報告を聞いて質問しようとしている。
漢字の広場3 漢字の音と訓	1 漢字がそれぞれにもつ「音」と「訓」、二つの読み方の違いに注目し、その使い分けや留意すべき特質について理解を深め、練習課題を通じて知識の定着を図る。	○		○	【知識・技能】学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されているうちの漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ 【態度】積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
言葉がつながる世界遺産／地域から世界へ	1 「学びナビ」を参考に、学習の見通しを立て、全文を通読し、筆者が問いかけている文と、その答えにあたる文を探し、事実と意見を整理しながら筆者の意見を捉える。 2 日光の社寺の世界遺産に推薦されるようなすばらしさについて、イコモスの専門家を驚かせた点をまとめる。 3 「修復記録の蓄積」と「世代を超えた技術の伝承」に対して、「言葉」の使われ方、果たす役割についてまとめる。 4 筆者の言葉に対する捉え方について話し合い、題名にこめられた筆者の思いに対する自分の考えをまとめる。 5 本文中で人物の語りが「」の形で引用されていることは、どのような効果をもたらしているかを考える。	○	○	○	【知識・技能】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。C(1)エ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。C(1)オ 【態度】粘り強く理解したことに基づいて考えを確かなものにし、文章を読んで考えたことを記録しようとしている。
【書く】読み手を意識して報告分を整える	1 「学びナビ」を読んで教材のねらいを理解する。報告文のテーマを決め、テーマに関わるデータを集める。 2 集めた調査結果を読み取り、書く順序を考える。 3 図表から読み取れることなどを中心に報告文を書く。 4 推敲して完成させる。完成した報告文を生徒どうしで読み合う。	○	○	○	【知識・技能】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。B(1)エ 【態度】積極的に読み手の立場に立って叙述の仕方などを確かめるとともに、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。
文法の小窓3 単語のいろいろ 文法(解説)3 単語のいろいろ	1 教科書P222『文法の小窓3』を読み、単語は品詞というグループに分けられることを理解する。加えて、単語が自立語と付属語とに分けられることを理解する。 2 活用のある単語と活用のない単語の区別を理解したうえで、文の中でははたらきによって十の品詞に分けられることを理解する。自立語について理解する。 3 付属語について理解する。品詞分類表によっての品詞分類の全体像を把握し、具体的な文例に即して言葉を分けて考えることの大切さを理解する。	○		○	【知識・技能】単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。(1)エ 【態度】すすんで単語の類別について理解を深め、今までの学習を生かして言葉を分けて考えることの大切さを理解しようとしている。
【話す聞く】発言を結びつけて話し合う	1 「学びナビ」を読んで、「総括すること」について理解する。グループで意味を定義する言葉を決め、文例を探したり作ったりする。 2 教科書P225の話し合いの例を参考にして、言葉の意味をどのように定義するかグループで話し合う。 3 第2時のグループの話し合いを深め、さまざまな意見を整理して言葉の定義を決める。 4 言葉の定義が、これまで話し合った内容と合致したものとなっているかをグループで確認する。	○	○	○	【知識・技能】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。A(1)オ 【態度】すすんで互いの発言を結びつけて考えをまとめ、学習の見通しをもってそれぞれの立場から考えを伝えようとしている。
漫画で「物語」を表現する	1 「学びナビ」P226上段を読んで、漫画の「工夫」について考える。教科書P226下段とP227を読み、漫画の「工夫」について理解する。またP228の活動をおととして、漫画のコマの並び方の効果を確認する。 2 P229の漫画の絵柄や言葉を比較し、作品の解釈や読み手への意識と漫画の絵柄や言葉との関係について考える。	○	○	○	【知識・技能】比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈している。C(1)ウ 【態度】積極的に関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、学習の見通しをもって伝えるべきことを整理して書こうとしている。
漢字の広場4 熟語の構成	1 複数の漢字を組み合わせて作り出される言葉を「熟語」と呼ぶことを確認し、身近な例を取り上げ、構成法によって意味や内容が大きく変わることに基づく。教科書にあげた構成法の各型に関する理解を深める。三文字以上の熟語の構成法についてグループ学習で確認する。日常生活の中から七つの型にあてはまる熟語を探す。	○		○	【知識・技能】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【態度】積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
四季の詩	1 それぞれの詩のイメージを想像し、どのような季節感が描かれているか話し合う。 2 教科書P238を読み、詩を創作する。	○	○	○	【知識・技能】比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C(1)イ 【思考・判断・表現】「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。B(1)エ 【態度】すすんで描写をもとに捉えるとともに、今までの学習を生かして詩を創作しようとしている。

少年の日の思い出	<p>1 「学びナビ」を読み、作品の語り方と構成を捉える。</p> <p>2 全文を通読し、あらすじを捉える。</p> <p>3 現在の場面と回想場面のできごとを整理する。</p> <p>4 「僕」と「エーミール」のチョウに対する考え方の違いを捉え、「エーミール」に対する心情の変化をノートにまとめる。</p> <p>5 「僕」と「エーミール」はお互いのことをどう思っているかを捉え、盗みを犯した理由を考える。</p> <p>6 「僕」がチョウをこなごなにした理由を話し合う。</p> <p>7 「自分の考えを伝え合おう2」の課題について話し合いながら、語り手について考える。</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係(特に語りと構成について)、また心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C(1)イ</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。C(1)オ</p> <p>【態度】粘り強く登場人物の心情の変化などについて捉えるとともに、見通しをもって小説を読んで考えたことを伝えようとしている。</p>
言葉の小窓3 方言と共通語 言葉(解説)3 方言と共通語	<p>1 教科書P257『言葉の小窓』を読んだあと、P268～269を読み、方言についての内容を理解する。P271「考えてみよう(1)」に取り組む。P270～271上段までを読み、方言の歴史やさまざまな方言について理解する。P271下段「方言と共通語の使い分け」を読み、「考えてみよう(2)」で調べたことを踏まえて、方言と共通語の使い分けについて考える。</p>	○	○	<p>【知識・技能】共通語と方言の果たす役割について理解している。(3)ウ</p> <p>【態度】すすんで共通語と方言について調べ、学習の見通しをもって共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。</p>	

【観点】Ⅰ：知識・技能 Ⅱ：思考・判断・表現 Ⅲ：主体的に学習に取り組む態度

単元	指導内容	評価の観点			評価規準
		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	
虹の足	1 「虹の足」などの比喩的な表現が表しているものを考えながら、感想を交流することをとおしてこの詩にこめられた作者の感動を読み取る。	○	○	○	【知識・技能】抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ 【態度】すすんで登場人物の言動の意味を考え、今までの学習を生かして考えたことをノートにまとめようとしている。
【話す聞く】 質問する力をつける	1 グループで、封筒の中に隠された言葉を当てるために、内容を考えて質問し合う。質問の内容が適切であったか、より適切な質問はなかったかを話し合う。	○	○	○	【知識・技能】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。A(1)ア 【態度】積極的に集めた材料を整理し、学習の見通しをもって話し合おうとしている。
タオル	1 「学びナビ」を確認する。全文を通して読み、登場人物やあらすじについて確認する。初発の感想を書き、読みの課題を整理する。 2 祖父をめぐる人々の思いを捉え、祖父の人物像について考える。 3 場面(前半部と後半部)ごとの「少年」の心情の変化と、変化の理由を考える。 4 「涙」に着目して、少年の心情の変化を捉える。 5 「タオル」が果たした役割について考えをもつ。語り方の特徴とその効果について考え、感想をまとめる。	○	○	○	【知識・技能】抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。C(1)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ 【態度】すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって理解したことを説明しようとしている。
文法の小窓 活用のない自立語 文法(解説)1 活用のない自立語	1 『文法の小窓1』を読む。右詞、連体詞、副詞の種類と用法について理解を深める。 2 接続詞、感動詞の種類や用法について理解を深める。 『文法の小窓1』に戻り、しりとりで使える言葉のさまりを話し合いながら作る。	○	○	○	【知識・技能】単語の活用について理解を深めている。(1)オ 【態度】積極的に活用のない自立語について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
【書く】 新聞の投書を書く	1 「学びナビ」を読んで教材のねらいを理解し、新聞の投書を書くための活動の流れを確認し、投書のテーマを決める。 2 教科書P39の投書を参考にして、説得力のある構成の仕方を考える。 3 集めた材料から自分の意見に合ったものを用いて投書を書く。 4 自分の意見を振り返り、表現や構成に注意して、推敲する。	○	○	○	【知識・技能】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア 【態度】積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書くようとしている。
漢字の広場1 まちがえやすい漢字	1 似た形やまちがえやすい漢字についての理解を深め、正しい字形で漢字を書く。	○	○	○	【知識・技能】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ 【態度】繰り返し学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
日本の花火の楽しみ	1 「学びナビ」を読んだあと、全文を通読し、キーワードを書き抜く。文章全体の問いと答えを探し出し、筆者の主張を捉える。 2 理想の花火を日ざし「花火玉の構造」「理想の開き方・消え方」について、それぞれ職人が施している工夫をまとめる。また、筆者の表現の意図を考える。 3 筆者の考える日本の花火についてまとめ、私たちの社会や日常生活の中で思い起こされる「日本の〇〇の魅力」について、文章にまとめる。	○	○	○	【知識・技能】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、筆者の説明の仕方について、その関係を踏まえて内容を解釈している。C(1)ウ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。C(1)エ 【態度】粘り強く必要な情報に注目し、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書くようとしている。
水の山 富士山	1 「学びナビ」を読んだあと、全文を通して読んでキーワードを書き抜く。富士山に降った水の流れを整理する。 2 二つの問いと答えを、図を活用しながら理解する。 3 文章の構成を捉え、筆者が「水の山 富士山」という題名をつけたことに対して自分の考えを書く。 4 『日本の花火の楽しみ』と比較し、構成や説明の仕方の違いについて自分の考えをもつ。	○	○	○	【知識・技能】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、筆者の説明の仕方について、その関係を踏まえて内容を解釈している。C(1)ウ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。C(1)エ 【態度】粘り強く必要な情報に注目し、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書くようとしている。
【話す聞く】 説得力のある提案をする	1 「学びナビ」を読み、「計画すること」について理解する。話題と提案内容を決め、意見と根拠を分けながら原稿メモを作成する。 2 文章構成を決め、スピーチ原稿を作成する。 3 お互いの発表を聞き、構成や意見と根拠の的確さを確認し合う。	○	○	○	【知識・技能】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。A(1)イ 【態度】積極的に自分の考えをまとめ、学習の見通しをもって考えを述べようとしている。
言葉の小窓1 敬語 言葉(解説)1 敬語	1 『言葉の小窓1』を読み、敬語のはたらきと用法について理解しつづ、敬語を使って台本を作成し、グループ内で紹介する。	○	○	○	【知識・技能】敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使っている。(1)カ 【態度】粘り強く敬語のはたらきや特徴について理解し、学習課題にそって実生活での生かし方を考えようとしている。
【書く】 構成を明確にして手紙を書く	1 「学びナビ」を読んで教材のねらいを理解し、手紙の用件を決め、形式を確認する。 2 手紙の形式を参考に構成を考える。 3 手紙の形式を踏まえて、下書きをする。 4 形式や言葉づかいに気をつけて下書きを推敲する。 5 下書きを友達と読み合い、指摘し合ったあとで清書する。封筒、はがきの書き方、電子メールの書き方を知る。	○	○	○	【知識・技能】話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。(1)イ 【知識・技能】敬語のはたらきについて理解し、文章の中で使っている。(1)カ 【思考・判断・表現】「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。B(1)イ 【態度】積極的に敬語のはたらきについて理解し、学習の見通しをもって用途に合わせた文書を書くようとしている。
夢を跳ぶ	1 全文を通して読み、ワークシートを使って、筆者の主張を理解する。感想、関心をもったこと、調べてみたいことを箇条書きで書き出す。 2 前時に箇条書きで書き出した、感想、関心をもったこと、調べてみたいことを、グループで発表し、意見を交流する。そのうえで、自分の調べたいことを一つに絞る。「みちるべ」を読み、自分の考えをまとめるための方法と手順を確認する。 3 「みちるべ」を参考に、さまざまな方法で集めた資料や情報を整理して、自分の考えをレポートにまとめる。	○	○	○	【知識・技能】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。C(1)ア 【思考・判断・表現】「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア 【態度】すすんで必要な情報に注目し、学習の見通しをもって考えたことをレポートにまとめようとしている。
言葉の小窓2 話し言葉と書き言葉 言葉(解説)2 話し言葉と書き言葉	1 『言葉の小窓2』を読み課題意識をもつ。教科書P279～P281を読み、「やってみよう」をとおして話し言葉と書き言葉の違いを考える。その後「考えてみよう」の短い文で変換作業を行い、リンの課題文に取り組む。	○	○	○	【知識・技能】話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。(1)イ 【態度】粘り強く話し言葉や書き言葉の特徴について理解し、学習課題にそって話や文章を読む際の生かし方を考えようとしている。

【話す聞く】 観点を明確にして伝える	1 「学びナビ」を読み、「課題を設定することについて理解する。身近にどのような問題が存在するかを考え、グループで意見を出し合い観点をしぼる。 2 問題解決に向けて情報を集めて自分の考えを整理する。 3 図やグラフを用いて発表し合い、発表の仕方について振り返りを行う。	○ ○ ○	【知識・技能】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を効果的に用いているなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。A(1)ウ 【態度】積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって
SNSから自由になるために／脚本で動きを説明する	1 『SNSから自由になるために』を読みSNSの性質を知り筆者の主張を捉えたあと、インターネットでの表現のあり方について考える。 2 教科書P86「学びナビ」を読み、小説と脚本の違いを知り、任意の小説の一節を脚本に書きかえてみる。	○ ○ ○	【知識・技能】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈している。C(1)ウ
漢字の広場2 漢字の成り立ち	1 漢字の六種類の成り立ちを理解し、身のまわりの漢字を分類する。	○ ○ ○	【知識・技能】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ 【態度】繰り返し学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
持続可能な未来を創るために－ 不平等のない社会を考える／ 「ここにいる」を言う意味	1 教科書P94～96を読み、「始めの『問い』」を考える。 2 教科書P97～99を読み、「次の『問い』」について話し合う。 3 教科書P100～103『「ここにいる」を言う意味』「一〇〇年後のみなさんへ」を読み、「最後の『問い』」について話し合い、自分なりの考えを書く。	○ ○ ○	【知識・技能】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。A(1)イ 【思考・判断・表現】「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ
紙の建築	1 「学びナビ」を読んで説明的な文章における事例の意図を理解し、本文のあらましを捉える。 2 本文を読んで「学びナビ」のキーワードを抜き出し、文章全体の構成を理解する。 3 P113「内容を読み深めよう」を学習し、本文における事例の役割や効果を確かめながら事例と主張を関連づけ、筆者の行動とそれを支える信念を捉える。 4 P113「自分の考えを伝え合おう」を学習し、筆者の考えを踏まえながら、社会の中で働くことについて自分の考えを文章にまとめる。 5 文章にまとめたものをもとに社会の中で働くことについて話し合い、広い視野をもったり自分の考えを深めたりする。	○ ○ ○	【知識・技能】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えている。C(1)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ 【態度】すすんで文章の構成や論理の展開について考え、学習課題にそって説明しようとしている。
【書く】 根拠をもとに意見文を書く	1 学びナビを読み「推論」の重要性について理解し、多様な考え方が問題について題材を決める。 2 意見と根拠を適切に示し、推論の道筋が伝わりやすい構成を考える。 3 根拠の適切さを考えて具体例を示し、自分の考えが伝わる文章にする。 4 読み手の立場に立って、文章を整える。 5 読み手からの助言を踏まえ、自分の文章を振り返る。	○ ○ ○	【知識・技能】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ 【態度】積極的に意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって、意見を述べる文章を書こうとしている。
文法の小窓2 活用のある自立語 文法(解説)2 活用のある自立語	1 『文法の小窓2』を読む。活用のある自立語について理解を深める。教科書P292の解説を参考に、動詞の種類や役割について理解を深める。 2 P297の解説を参考に、形容詞や形容動詞の活用や役割について理解を深める。	○ ○ ○	【知識・技能】単語の活用について理解を深めている。(1)オ 【態度】粘り強く自立語の活用について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
敦盛の最期	1 『平家物語』冒頭を歴史的仮名遣いに注意して音読し、『平家物語』の中心思想を理解する。 2 「敦盛の最期」を歴史的仮名遣いに注意して音読し、登場人物を確認してせりふの主題を確定する。 3 登場人物の言動や心情について話し合う。 4 記述を根拠にして登場人物の心情を読み取ったあと、一人で、あるいは役割を決めて朗読し、作品世界を味わう。	○ ○ ○	【知識・技能】歴史的仮名遣いに注意して、作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。C(1)ア 【態度】すすんで現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、理解したことを話し合いの場で発言している。
随筆の味わい	1 歴史的仮名遣いに注意しながら音読し、どのような季節感や人間観が述べられているか課題をもつ。 2 『枕草子』を読んで季節の情景を捉え、感想を交流する。 3 『徒然草』を読んで筆者の考え方を捉え、それに対する自分の考えを文章にまとめる。	○ ○ ○	【知識・技能】現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むこととおして、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、古典の文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ 【態度】すすんで現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み理解したことや
二千五百年前からのメッセージ	1 書き下し文を音読したり暗唱の練習をしたり、また、現代語訳を確認したりすることで、各章句の意味を捉える。 2 教科書の章句の中から一つ選び、そのよさについてワークシートに記入したうえで、話し合う。 3 好きな孔子の言葉や他にも探して、『論語』の言葉で心に響いた表現や内容についての自分の考えを文章にまとめ、紹介する。	○ ○ ○	【知識・技能】作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において、古典の文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ 【態度】粘り強く現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、学習課題に
坊っちゃん	1 『坊っちゃん』を読み、作品の続きを予想する。 2 さまざまな資料を参考にして近代の小説や物語を探し、内容紹介をする。	○ ○ ○	【知識・技能】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ 【態度】すすんで内容を解釈し、複数の情報を整理しながら考えたことを提案しようとしている。
短歌の味わい	1 ・「短歌の味わい」を読み、「短歌十首」の中から印象に残った短歌を選ぶ。 ・選んだ短歌がなぜ印象に残ったのか話し合う。 2 ・コラム「少しだけ変えてみる」(P170～171)を読み、表現の違いによって描かれる世界に大きな違いが生まれることを理解する。 ・コラムの内容を踏まえて、短歌を創作する	○ ○ ○	【知識・技能】作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ 【思考・判断・表現】「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。B(1)エ 【態度】すすんで内容を味わい、今までの学習を生かして短歌を創作しようとしている。

夏 の葬列	<p>1 「学びナビ」を読んだあと、全文を通して読み、語句を調べながら、あらすじを把握する。</p> <p>2 物語の展開を捉え、感想の交流をとおして読みの課題を設定する。</p> <p>3 人物の心情の変化を捉え、それについて感想を交流する。</p> <p>4 主人公の人称の使い分けを比較し、その効果について話し合う。</p> <p>5 結末部分について考えを深め、話し合いをする。</p> <p>6 物語の展開や表現の工夫がどのような効果をもたらしているか考える。</p>	○	○	<p>【知識・技能】抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や論理の展開(時間の流れと場面の展開)、表現の効果について考えている。C(1)エ</p> <p>【態度】粘り強く時間の流れや場面の展開などの構造を捉え、学習課題にそって考えたことを提案しようとしている。</p>
映像作品の表現を考える	<p>1 「学びナビ」を読み、絵コンテの仕組みや特徴について知り、原作の漫画と絵コンテの違いを考える。</p>	○	○	<p>【知識・技能】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。C(1)イ</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈している。C(1)ウ</p> <p>【態度】積極的に映像作品の表現の特徴について理解し、学習の見通しをもつて生活での生かし方を考えようとしている。</p>
漢字の広場3 漢字の多義性	<p>1 漢字の多義性についての理解を深め、熟語を正しく書き表す。</p>	○	○	<p>【知識・技能】多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ</p> <p>【態度】すすんで漢字の多義性について理解し、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。</p>
ガイアの知性	<p>1 「学びナビ」を読んだあと、全文を通読し、問題と主張の関係を把握したうえで、「鯨と象」と「人間」の二つの「知性」の対比構造を捉える。</p> <p>2 第一大段落の二つの問題提起を捉え、第二大段落以降の解決に関わる重要語句を見いだす。</p> <p>3 第二大段落「鯨や象」の「高度な『知性』」の実体を捉える。</p> <p>4 第三大段落を読み、「攻撃的な知性」と「受容的な知性」の関係を捉え、筆者の提言・主張の妥当性について判断する。</p> <p>5 筆者の主張に対する自分の意見を文章にまとめる。</p>	○	○	<p>【知識・技能】抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ</p> <p>【知識・技能】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えている。C(1)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ</p> <p>【態度】すすんで主張と例示の関係について考え、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。</p>
【書く】 記事を書く	<p>1 実際の新聞やウェブサイトを読み、記事の情報整理の仕方を知る。</p> <p>2 記事にするテーマを決め、材料を集める。</p> <p>3 「新聞記事の構成」を手本にしなが実際に記事を書いてみる。</p> <p>4 情報をわかりやすく伝えるために写真や図表などの配置を工夫する。</p> <p>5 記事を発表し合い、わかりやすい見せ方を指摘し合い推敲する。</p>	○	○	<p>【知識・技能】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。B(1)イ</p> <p>【態度】積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって実生活への生かし方を考えようとしている。</p>
【話す聞く】 相違点を明確にして聞く	<p>1 「学びナビ」を読み、「比較する」ことについて理解する。相手の話を聞くときのポイントを知り、スピーチのテーマをグループで話し合って決める。</p> <p>2 スピーチ原稿を作成したあと、グループ内で推敲する。</p> <p>3 自分のスピーチメモと比較しながら相手のスピーチを聞いたり、質問したりする。</p>	○	○	<p>【知識・技能】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。A(1)エ</p> <p>【態度】積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって対話しようとしている。</p>
学ぶ力	<p>1 「学びナビ」を読んだあと、全文を通して読み、文章の構成や展開に注意して概要を捉える。</p> <p>2 全文を提案・解説・例示の観点から整理し、「学ぶ力が伸びる」条件をまとめる。</p> <p>3 筆者の主張から、自分の体験を思い起こしたり考えを深めたりする。</p> <p>4 筆者の考えを踏まえて、小学校からの学びを振り返り、文章にまとめ、他者との交流をとおして考えを深める。</p>	○	○	<p>【知識・技能】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ</p> <p>【態度】今までの学習を生かして文章の構成や論理の展開について考え、学習の見通しをもって考えたことを説明しようとしている。</p>
【話す聞く】 よりよい結論を導く討論をする	<p>1 「学びナビ」を読み、「推論する」ことについて理解する。話し合いの進め方を理解し、教材の自己目標を設定する。社会生活の中から話題を決め、想定される立場を考える。</p> <p>2 グループ内で、異なる立場を設定し、役割を分担する。話題について、自分の考えを整理し、まとめる。</p> <p>3 話し合いの手順や留意点、評価の観点を確認する。グループで討論を行う。行われた話し合いについて、グループごとに振り返る。</p> <p>4 話し合いから導いた結論について、グループごとに発表する。第一時に設定した目標を自己評価する。</p>	○	○	<p>【知識・技能】抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ</p> <p>【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。A(1)オ</p> <p>【態度】積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって討論しようとしている。</p>
文法の小窓3 付属語のいろいろ 文法(解説)3 付属語のいろいろ	<p>1 教科書P237『文法の小窓3』を読んで、助詞の違いによる印象や意味の違いを考えるとともに、教科書P299を読んで助詞の種類とはたらきについて理解する。</p> <p>2 教科書P301を読んで、助動詞の種類とはたらきについて理解し、「考えてみよう」に取り組む。</p>	○	○	<p>【知識・技能】助詞や助動詞などはたらきについて理解を深めている。(1)オ</p> <p>【態度】助詞・助動詞に興味・関心を抱き、助詞・助動詞のはたらきを理解し、その理解を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に生かして、適切に表現・理解しようとしている。</p>
豚	<p>1 「学びナビ」を読んだあと、詩を読み、連の関係に気をつけながら自分の考えをまとめて、詩のイメージをクラスで交流する。</p>	○	○	<p>【知識・技能】抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ</p> <p>【態度】すすんで内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを説明しようとしている。</p>

走れメロス	<p>1 「学びナビ」を読んだあと、全文を通読し、新出漢字や難意語句について理解する。「学びナビ」の具体については第5時で扱う</p> <p>2 全体の構成を捉えるとともに、第一場面、第二場面を音読し、状況(場面)設定や人物設定についてまとめる。</p> <p>3 第三場面、第四場面を音読し、できごとをまとめるとともに、そのことについての自分の考えもまとめる。</p> <p>4 第五場面、第六場面を音読し、メロスとセリヌンティウスの言動や心情、ディオニスの変化を捉え、そのことについて自分の意見をまとめる。</p> <p>5 「学びナビ」を参考に、人称の変化が作品全体に与える効果について確認する。</p> <p>6 シラーの『人質』と比べ読みをして、『走れメロス』に特徴的な点を明らかにする。</p> <p>7 語り方の特徴を踏まえて読みをまとめ、感想や意見を交流することによって、自分の考えをもつ。</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。C(1)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ</p> <p>【態度】すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって自分の考えを深めようとしている。</p>
言葉の小窓3 類義語・対義語・多義語・同音語 言葉(解説)3 類義語・対義語・多義語・同音語	1 教科書P267『言葉の小窓3』の会話文をもとに、類義語と対義語の意味や特徴を理解する。またP282の解説を読み、日常生活の中から集めた多義語や同音語を調べたり、考えたりして用法を知る。	○	○	○	<p>【知識・技能】類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ</p> <p>【態度】粘り強く類義語・対義語・多義語・同音語について理解し、学習課題に</p>
【書く】 「連作ショートショート」を書く	<p>1 「ショートショート」の特徴について知り、四人で一組になる。一人が「不思議な言葉」を考える。</p> <p>2 「連作ショートショート」を分担して書く。</p> <p>3 グループで物語を合わせて読み合い、文章を整える。</p> <p>4 他のグループと作品を交換して読み合う。</p> <p>5 感想を交流し、よい点や改善点を教え合い推敲する。</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ</p> <p>【思考・判断・表現】「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。B(1)オ</p>
漢字の広場4 同音の漢字	1 同音の漢字について理解し、身のまわりの同音語を見つける。	○	○	○	<p>【知識・技能】同音異義語などについて理解し、話や文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ</p> <p>【態度】すすんで同音の漢字について理解を深め、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。</p>

【観点】Ⅰ：知識・技能 Ⅱ：思考・判断・表現 Ⅲ：主体的に学習に取り組む態度

単 元	指 導 内 容	評価の観点			評 価 規 準
		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	
春に	1 「この気持ちはなんだろう」という表現が繰り返されていることの効果について話し合う。『春に』に表されている「気持ち」の中から今の自分の気持ちと近いものを選び、その理由を説明する。	○	○	○	【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをおとし、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ 【態度】すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。
立ってくる春	1 「学びナビ」を読み、これまでの学習(説明的文章や文学的文章についての学び)や読書生活を振り返るとともに、学習の見直しを立てる。 2 筆者がどのようにして「立春」という言葉への独自の見方考えに至ったのか、その経緯を筆者固有の経験との関係を整理して捉える。(みちしるべ1, 2) 3 各自が考えた「立夏」「立秋」「立冬」の「かたち」の交流を踏まえて、それらが「私」の中に居つづける言葉となる可能性について考える。独自の見方考え方を固有の経験に基づき随筆を読んでいくことの価値について考える。全文を通読し、筆者に独自の見方・考え方を捉え、それに対する自分の思いや考えを書く。また、随筆の魅力について考え	○	○	○	【知識・技能】文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ 【態度】すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。
なぜ物語が必要なのか	1 「学びナビ」を確認するとともに、「立ってくる春」での学びを振り返り、学習の見直しをもつ。筆者(「私」)がどのような問いをあげ、どのような例をもとに答えを導いているか整理する。(内容・みちしるべ1)「洋二郎さん」「アンネ」それぞれにとっての「物語」の役割について、筆者の考えを捉える。(内容・みちしるべ2) 2 読み手にとっての「物語」の役割について、筆者の考えを本文の言葉を使って説明する。(内容・みちしるべ3)筆者の「物語」に対する考え方について、自身の経験を振り返って評価する。(自分の考え・みちしるべ1) 3 「物語の役割」に対する筆者の考え方への評価について、経験も交えながら話し合う。	○	○	○	【知識・技能】文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。C(1)ア 【態度】すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。
【話す聞く】一言でまとめ一言から広げる	1 グループを作り、一人が最近のできごとや体験を話す。グループの他のメンバーは話の内容を一言でまとめるならばどうなるか考える。次に話す人はその一言から思い浮かぶ体験について話す。他の人でも同様のことを行う。一周したら、誰の話がよかったか、どの一言がよかったか、感想を交流し合う。				【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話の中で使うことをおとし、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。A(1)ア 【態度】積極的に関場の状況に応じて言葉を選び、学習課題にそって提案しようとしている。
私	1 「学びナビ」を確認し、「記号」と「象徴」の違いについて理解し、「記号」としての「個人情報」という捉え方と「私」というタイトルがどのように結びつくのか、本文にどのように表されるのかを考えながら、通読する。 2 前半部と後半部のできごとを整理し、「私」の「市民対応」と「司書」の「市民対応」を比較したうえで、役所に来た「女性」と図書館に行った「私」は何を問題にし、どのような結果になったのかをまとめる。 3 「二重の情報」に対する「女性」「司書」「私」の捉え方の違いについて考えを交流する。 4 この作品を現実の世界と比較しながら批評し、文章にまとめる。	○	○	○	【知識・技能】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。C(1)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ 【態度】粘り強く、文章の展開を捉えたり言葉の意味を文脈から理解したりするとともに、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
薔薇のボタン	1 全文を通して読み、感想や関心をもった点などについて「読書の記録」をとり、記録を使いながら交流する。 2 さらに本の世界を広げるためにビブリオバトルを行う。	○	○	○	【知識・技能】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。C(1)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ 【態度】積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして考えたことについてまとめようとしている。
【話す聞く】構成を考えて主張をまとめる	1 「学びナビ」を読み、「組み立てる」ことについて理解する。社会生活の中から興味があるテーマや課題だと感じるテーマを選び、そのテーマについて自分自身の立場や主張を考えるための資料や事例を探す。 2 全体の構成や論理展開を検討し、スピーチ原稿を作成し、さらに推敲する。 3 スピーチを行い、話の構成について工夫されていたことを話し合う。	○	○	○	【知識・技能】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。A(1)イ 【態度】すすんで情報の信頼性の確かめ方を理解して使い、学習の見直しをもって主張しようとしている。
メディア・リテラシーはなぜ必要か？ ／新聞が伝える情報を考える	1 『メディア・リテラシーはなぜ必要か？』を読み、メディア論の基本について理解を深める。筆者の主張の組み立てに用いられている論理を理解し、その情報の信頼性を吟味する。2 教科書P64「学びナビ」を読み、新聞が一目の情報とどのように区分し、どのように構成して伝えるのかを理解する。二つの社説の同じできごとへの社会的意味づけの意見の述べられ方を比較し、情報の向こうにいる解釈者の存在を理解する。	○	○	○	【知識・技能】情報の信頼性の確かめ方を理解して使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。C(1)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ 【態度】積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして考えたことについてまとめようとしている。
漢字の広場1 呉音・漢音・唐音	1 「呉音」「漢音」「唐音」について理解を深め、具体的な漢字について漢和辞典で調べたり、空白に共通で入る漢字を選んで熟語を完成させたりする。	○			【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをおとし、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【態度】繰り返し学年別配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
文法の小窓1 助詞のはたらき 文法(解説)1	1 教科書P70『文法の小窓1』の会話文を読み、助詞「から」「の」の使われ方の違いを考え、教科書P282～283を用いて、格助詞・接続助詞のはたらきや代表的な語とその意味を理解する。 2 教科書P284～285を用いて、副助詞・終助詞のはたらきや代表的な語とその意味を理解し、「の」の識別について理解する。		○	○	【知識・技能】助詞のはたらきについて理解している。2年(1)オ 【態度】助詞に興味・関心を抱き、粘り強く助詞の種類とはたらきを理解し、その理解を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の学習に生かして、適切に表現・理解しようとしている。
AIは哲学できるか	1 「学びナビ」を確認し、筆者の主張について批判的に読むという手法を踏まえ、筆者の立場やものの見方、考え方に注目しながら全文を通読する。 2 「哲学的な思考パターン」「切実な哲学の問い」の内容について話し合い、筆者のいう「哲学」とはどのようなものか整理する。 3 文末表現に注目しながら、筆者がこれからの人工知能と哲学の関係をはじめに捉えているか確認する。また、筆者が「そういうことは当分は起きないと私は予想する。」と述べている理由について確認する。 4 「哲学に新たな次元を開くことになる」とはどのようなことか自分の考えを伝え合う。5 「AIは哲学できるか」という題名をつけた筆者の意図について考えたことを文章にまとめる。	○	○	○	【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。C(1)イ 【思考・判断・表現】「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア 【態度】粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題にそって批評する文章を書くようとしている。

【書く】具体例をもとに説明文を書く	1 「学びナビ」を読んで教材のねらいを理解したうえで、「打ち言葉」(メールやSNSで使う言葉や表現方法)の特徴を説明するため、具体例を数多くあげる。 2 具体例から打ち言葉の一般的な特徴を導き出し、読み手の興味をひく構成を考える。 3 文章にまとめる。 4 打ち言葉の一般的な特徴を説明しているかに注意して推敲する。 5 書いた文章を読み合い、適切に一般化して説明できたか確認し合	○	○	○	【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをおとして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【知識・技能】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を得得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。B(1)イ 【態度】積極的に文章の種類を選択し、学習の見通しをもって発表のための資料を作成しようとしている。
漢字の広場2 熟字訓	1 熟字訓についての基礎的な知識について確認する。理解を深めるために、「老舗」「弥生」「固唾」「時雨」などの言葉の読み方と意味を確かめる。	○	○	○	【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【態度】繰り返し学年別配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
言葉の小窓1 和語・漢語・外来語 言葉(解説)1 和語・漢語・外来語	1 和語・漢語・外来語の違いや由来を理解し、日常的に使われている言葉の中で気になる言葉について出し合い、辞典で調べ、効果的な使い分けについて考える。	○	○	○	【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることをおとして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【態度】粘り強く言葉の特徴や使い分けを理解し、学習課題にそって文章を読む際の手かき方を考えようとしている。
async	1 「学びナビ」を読み、『async』と『問いかける言葉』について、筆者の主張とその根拠(主張のよりどころ)に着目しながら通読する。 2 『async』の文章の構成や展開、表現の仕方について、図式化しながら整理する。 3 『問いかける言葉』の文章の構成や展開、表現の仕方について、図式化しながら整理する。	○	○	○	【知識・技能】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ 【態度】粘り強く文章を読んで自分の考えを深め、学習課題にそって考えたことについて討論しようとしている。
問いかける言葉	4 それぞれの文章の「不寛容」「新しい」という言葉に着目し、説明の仕方や筆者の主張の、共通点や相違点についてまとめる。 5 それぞれの文章における筆者の主張の仕方を比べながら、表現の効果や読み手に与える印象について話し合う。 6 「不寛容」などに対するそれぞれの筆者のものの見方や考え方の違いを捉えて、社会のあり方や他者との関わり方について、自分の考えをまとめて話し合う。	○	○	○	【知識・技能】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。A(1)オ 【態度】粘り強く文章を読んで自分の考えを深め、学習課題にそって考えたことについて討論しようとしている。
【書く】説得力のある批評文を書く	1 「学びナビ」を読んで教材のねらいを理解したうえで、比較や関係づけを生かした批評文の書き方について理解する。批評する観点を決めて対象を観察し、気づいた特徴を分析する。 2 判断や評価を伝えやすい構成を考える。 3 効果的な論理展開や書き出し方、まとめ方を考え、批評文を書く。 4 批評できているかに注意して推敲する。 5 できあがった批評文を友達と読み合い、助言をもとに自分の文章のよい点や改善点を見つける。	○	○	○	【知識・技能】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア 【思考・判断・表現】「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ 【態度】積極的に情報の信頼性の確かめ方を理解し、学習の見通しをもって批評する文章を書くようとしている。
文法の小窓2 助動詞のはたらき 文法(解説)2 助動詞のはたらき	1 教科書P106『文法の小窓2』を読み、三つの「止められる」には、どのような意味の違いがあるか考え、「れる・られる」を例にして助動詞のはたらきについて理解する。 2 教科書P288～289を用いて、判断を表す助動詞と助動詞相当の語句について理解するとともに、いくつかの語の識別を行い、説明する。	○	○	○	【知識・技能】助動詞などのはたらきについて理解している。2年(1)オ 【態度】積極的に助動詞に興味・関心を抱き、助動詞のはたらきを理解し、その理解を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に生かして、適切に表現・理解しようとしている。
言葉の小窓 2相手に対する配慮と表現 言葉(解説)2 相手に対する配慮と表現	1 場面や相手に応じた敬語の使い方について、教科書P107、P273～275などのさまざまな事例を使い、練習しながら理解を深める。	○	○	○	【知識・技能】敬語などの相手や場に応じた言葉づかいを理解し、適切に使っている。(1)エ 【態度】粘り強く相手や場に応じた言葉づかいを理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。
ニュースで情報を編集する	1 「学びナビ」を読む。ニュース番組が演出されているということに踏まえたうえで、効果的なナレーションの方法について考える。 2 ナレーションに応じた画像を選択し、ニュース台本を完成させ、画像にそってナレーションを読み、効果的なニュースになっているかどうかを話し合う。	○	○	○	【知識・技能】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。C(1)イ 【思考・判断・表現】「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア 【態度】積極的に文章の種類とその特徴について理解し、学習の見通しをもってニュースの形式にまとめようとしている。
実用文を読む	1 効果的な「お知らせ」の方法について、身のまわりの「お知らせ」の文章を探して読み、文章によってどのような特徴があるのかを調べる。	○	○	○	【知識・技能】文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方などを捉えている。C(1)ア 【態度】積極的に必要な情報を精査・解釈し、今までの学習を生かして実生活への生かし方を考えようとしている。
旅への思い	1 『旅への思い』を通読し、『おくのほそ道』や芭蕉について理解を深める。 2 歴史的仮名遣いに注意して、『おくのほそ道』の文章をノートに書き写し、音読することで、文体の特徴について理解する。 3 「旅立ち」「平泉」「立石寺」のそれぞれに描かれた情景と芭蕉の心情について話し合う。 4 印象に残った句を引用し、句から想像したことも入れて内容を紹介する文章を書く。	○	○	○	【知識・技能】歴史的背景などに注意して古典を読むことをおとして、その世界に親しんでいる。(3)ア 【知識・技能】長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。(3)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、古典の文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ 【態度】粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
和歌の調べ	1 全文を通読したのち、『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』のそれぞれの違いに着目しながら、和歌を声に出して読み、そのリズムを味わいながら、意味を考える。 2 和歌を一首選び、その歴史的背景や作者の心情について調べ、発表する。 3 歌に表れた、自然や人間に対する作者の思いについて考え、話し合う。	○	○	○	【知識・技能】歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア 【知識・技能】長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。(3)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、古典の文章を読んで考えを深めたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ 【態度】粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
風景と心情	1 漢文訓読についての既習事項を確認し、李白『黃鶴樓にて孟浩然の広陵に之くを送る』の書き下し文をもとに、声の出し方や間のとり方を工夫して音読したり暗唱したりする。 2 教科書P139「漢詩の表現の特徴」を参照し、杜甫『春望』の対句や韻について理解するとともに、声の出し方や間のとり方を工夫して音読したり暗唱したりする。 3 李白・杜甫の詩の暗唱を繰り返し、前時までの学習を確認したうえで、李白と杜甫への手紙をそれぞれ書く。	○	○	○	【知識・技能】歴史的背景などに注意して古典を読むことをおとして、その世界に親しんでいる。(3)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において、古典の文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ 【態度】粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
最後の一句	1 『最後の一句』を読み、描かれた人物や状況についての感想を発表し合う。 2 森鷗外の他の作品の紹介文を作成し、感想を交流する。	○	○	○	【知識・技能】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。C(1)イ 【態度】すすんで文章を批判的に読み、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
漢字の広場3	1 異字同訓についての文章を読み、理解する。異字同訓についての練習問題(意味の違いを確かめる、どのような漢字を書くのがふさわしいか確かめる)を行い、理解を深める。	○	○	○	【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【態度】繰り返し学年別配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
言葉の小窓3 慣用句・ことわざ 言葉(解説)3 慣用句・ことわざ	1 慣用句とことわざについて、P162『言葉の小窓3』とP276～278を読み、いろいろな慣用句、慣用句の性質、誤りやすい慣用句やことわざについて、知識を広げたり、実際に使ってみたりする。	○	○	○	【知識・技能】慣用句などについて理解を深め、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【態度】粘り強く慣用句などについて理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。

俳句の味わい	1 「俳句の味わい」を読んで「俳句のまきり」「句切れ」「切れ字」「季語」や、俳句で用いられる表現上の工夫を理解する。「俳句十五句」を読んで「みちるべ」の「1 印象に残った句を選び、声に出して読もう。また、P166・169を参考に、選んだ俳句について批評しよう。」に取り組み。 2 「みちるべ」の「2 『歳時記』を活用し、さまざまな季語を覚えよう。そのうえで、次ページのコラムを参考に句会を楽しもう。」に取り組み。	○	○	○	【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをおとし、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ 【態度】すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。
初恋	1 「文語定型詩」の特徴を捉えながら、暗唱することをとおして詩を味わう。	○	○	○	【知識・技能】文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ 【態度】粘り強く文章の種類や構成について理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている
故郷	1 「学びナビ」を読み、一人称視点と三人称視点の語り方の違いが小説の表現に及ぼす特徴について理解したうえで、『故郷』が一人称で語られている効果について着目しながら全文を通読する。 2 作品を五つの場面に分け、小見出しをつける。できごとを時間の順序に従って並べ替え、なぜそのような順序で構成されたのかを考える。 3 「私」の記憶の中にある故郷と現在の故郷の風景の様子を比べ、その描写の違いがもたらす印象について考える。 4 「閑土」はどんな人物か、「私」にとって、どのような存在であったのか、一人称視点で語られていることを踏まえて整理し、考えを深める。 5 「楊おばさん」と「閑土」について、「私」に対する二人の気持ちを想像し、過去と現在に分けてまとめる。また、現在の二人のことを「私」はどのように捉えているか、意見を交流する。 6 「思うに希望とは、……歩く人が多くなれば、それが道になるのだ。」について、「閑土」と「私」の「希望」は、どのように異なるのかを考える。また、「私」の捉えている「地上の道」とはどのようなものか考える。 7 『故郷』を読み、考えたことについて文章にまとめる。	○	○	○	【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをおとし、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ 【態度】すすんで表現の仕方について評価し、学習課題に沿って批評しようとしている。
【書く】自己PR文を書く	1 「学びナビ」を読んで教材のねらいを理解し、書くための材料を集める。構成を検討して自己PR文を書き、推敲する。 2 自己PR文を読み合って検証し、書き直す。	○	○	○	【知識・技能】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア 【思考・判断・表現】「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。B(1)オ 【態度】粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題にそって発表のための資料を作成しようとしている。
【話す聞く】表現の工夫を評価してスピーチをする	1 「学びナビ」を読み、「限定する」ことについて理解する。スピーチの目的や、スピーチする相手を理解し、状況に合わせたスピーチについて理解したうえで、中学校生活を振り返るためのスピーチ内容について考える。自分の考えを「誰に対して」「どのような場所で」「どのような言葉で」「どのように」伝えるかなどを想定して、スピーチ原稿を作成する。 2 場面を想定したうえでスピーチをする。スピーチをお互いに評価し合い、表現の改善に生かす。	○	○	○	【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話の中で使うことをおとし、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。A(1)ウ 【態度】積極的に場の状況に応じて言葉を選び、学習課題にそって主張しようとしている。
漢字の広場4 四字熟語	1 四字熟語についての文章を読み、基本的事項について理解したうえで、練習問題を解き、さらに理解を深める。	○	○	○	【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、四字熟語について理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【態度】繰り返し学年別配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
持続可能な未来を創るために——人間の生命・存在を考える／生命とは何か／地球は死にかかっている／水の星	1 教科書P220～224を読み、「始めの『問い』」を考える。 2 P225～227を読み、「次の『問い』」について話し合う。 3 P228を読み、「最後の『問い』」について自分の考えを書く。	○	○	○	【知識・技能】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。A(1)オ 【思考・判断・表現】「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ 【態度】粘り強く論理の展開の仕方を捉え、学習課題にそって考えたことについて討論しようとしている。
【話す聞く】意見を共有しながら話し合う	1 「学びナビ」を読み、「一般化する」ことについて理解する。環境問題や資源の有限性について、自分が興味・関心をもっていることを具体的にあげる。その中から、持続可能な社会の実現に向けてできることについて考えをまとめる。グループでお互いの意見を出し合い、共通点や相違点を整理し、グループで意見をまとめる。 2 グループでまとめた意見をクラスに向けて発表する。他のグループの意見を参考にしながら、持続可能な社会の実現に向けてできることについて、クラスの多くの人が納得できる結論を考える。	○	○	○	【知識・技能】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。A(1)オ 【態度】積極的に相手や場に応じた言葉づかいを理解し、学習の見直しをもって討論しようとしている。
【書く】情報をまとめて作品集を作る	1 「学びナビ」を読み、情報をまとめて作品集を作り、学習を振り返るための材料にすることを理解し、作品を集め、作品集のテーマを決め、作品集に入れる作品を選ぶ。 2 編集する。(全体の構成を考えながら、作品を並べる。) 3 製本する。 4 友達と読み合う。	○	○	○	【知識・技能】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア 【思考・判断・表現】「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア 【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。B(1)イ 【思考・判断・表現】「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ 【思考・判断・表現】「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。B(1)エ 【思考・判断・表現】「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。B(1)オ 【態度】積極的に今までの学習を生かして発表のための資料を作成しようとしている。
バースデイ・ガール	1 作品の構成について、語りの構造に注意しながらまとめる。もし自分が二十歳の「彼女」であったら、どんなことを願うかという「問い」を手がかりに、この作品についての互いの考えを交流する。 2 村上春樹の他の作品を読んでみる。	○	○	○	【知識・技能】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ 【態度】粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
青春の歌	1 現代短歌とその批評を読み、短歌の世界の魅力にふれる。	○	○	○	【知識・技能】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ 【態度】積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして批評しようとしている。
やわらかな想い	1 教科書P30～31の学びナビ「<私>という記号」を読み返しながら、『やわらかな想い』で使われている「記号」にどのような効果があるのかを考える。	○	○	○	【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをおとし、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ 【態度】すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。